

前立腺肥大症治療に、 チューブ 内視鏡下核出術(TUEB)を。

当院が実施する内視鏡下核出術(TUEB)は、従来の治療法に「くりぬく」という方法を加えた前立腺肥大症の治療法であり、安全性と確実性を向上させました。

安全

身体にやさしい生理食塩水中で、組織を「くりぬく」ことで、出血を少なくするため、合併症が起きにくくなったといわれています。

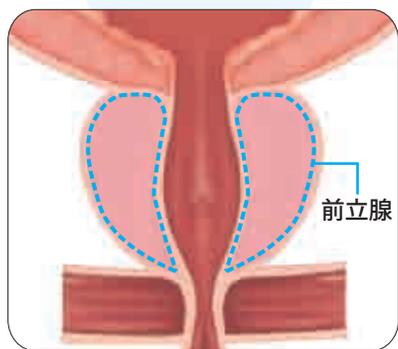
確実

従来治療が困難であった極めて大きく肥大した前立腺に対し、根元から「くりぬく」という方法を導入することにより、確実な治療効果をねらい、再発の低減にも貢献します。

チューブ 内視鏡下核出術(TUEB)の手順

①

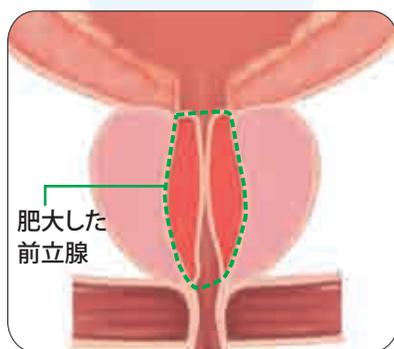
前立腺って何？



前立腺は生殖器官の一部で、男性のみに存在します。膀胱の真下にあり、尿道(おしっこの通り道)を覆うような形をしています。

②

前立腺肥大症とは？



前立腺肥大症は、ガンなどとは違って生命にかかわるような病気ではありませんが、肥大した組織が尿道を圧迫することで、おしっこが出にくくなり、また治療しないままだと尿閉(おしっこが全く出なくなる)も起こりえる病気です。

③

最新の治療で 前立腺を「くりぬき」ます。



今までの手術方法は、肥大した前立腺を「削る」という方法が主流でしたが、当院が実施している最新の手術は前立腺を「くりぬき」ます。くりぬくという方法のため、出血が少なく、周辺組織への影響も少ないので、患者様の体への負担が少なくなります。

④

「くりぬく」から 根治性が高まります。



前立腺をくりぬくことによって、根治性の向上が期待されます。また、出血が少ないことなどから、手術後の回復が早まったり、手術後に起こる場合がある副作用の可能性が低減されるなどのメリットも期待されています。

この手術は、日本で生まれ、世界でも多く実施されています。
また、保険適用もされています。

詳しくは、担当医までご相談ください。